

# 令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

大阪市長居小	学校	児童数	124
--------	----	-----	-----

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.11	16.79	31.02	38.19	33.87	9.66	144.37	18.19	48.05
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	16.43	17.56	37.26	39.39	30.72	9.72	140.78	12.13	53.06
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

### 結果の概要

大阪市・全国平均を上回った種目は、男子が1種目、女子が3種目であった。握力の結果は、男女ともに大阪市・全国平均を上回った。一方で、20mシャトルランの結果は男女ともに大きく下回った。体力合計点については、男子は大阪市・全国平均のいずれも下回ったが、女子は大阪市平均を上回った。

質問項目「運動やスポーツをすることが好きですか」に対し、最も肯定的に回答した児童の割合は、男子が大阪市・全国平均を上回り、女子は大阪市平均を上回った。

「1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合」は、男子が15.0%、女子が24.1%であり、大阪市・全国平均よりも高かった。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体力向上アクションプログラムに基づき、年間3回の体力向上の取り組み（ドッジボール・なわとび・おにごっこ）を計画通り実施した。質問項目「体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、『できたり、わかったり』することができますか」に対し、肯定的に回答した児童の割合は大阪市・全国平均を上回った。

一方で、シャトルランやソフトボール投げなど、普段の体育の授業で実施する機会が少ない競技では、数値が低い傾向が見られた。そのため、体育の授業や日常の活動において多様な運動を取り入れ、基礎的な体力の向上を図る必要がある。また、休み時間の外遊びの環境整備として、運動場の使い方の工夫や設備の充実を進めてきた。今後も、児童が外遊びを通して運動の楽しさや心地よさを実感できるよう、継続的に取り組んでいく。